

【表紙】

| | |
|------------|--------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 2018年4月13日 |
| 【四半期会計期間】 | 第26期第2四半期（自 2017年12月1日 至 2018年2月28日） |
| 【会社名】 | 株式会社エヌ・ピー・シー |
| 【英訳名】 | NPC Incorporated |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 伊藤 雅文 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都台東区東上野一丁目7番15号 |
| 【電話番号】 | (03)-6240-1206 |
| 【事務連絡者氏名】 | 専務取締役 廣澤 一夫 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都台東区東上野一丁目7番15号 |
| 【電話番号】 | (03)-6240-1206 |
| 【事務連絡者氏名】 | 専務取締役 廣澤 一夫 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第25期 第2四半期 連結累計期間 | 第26期 第2四半期 連結累計期間 | 第25期 |
|----------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自 2016年9月1日 至 2017年2月28日 | 自 2017年9月1日 至 2018年2月28日 | 自 2016年9月1日 至 2017年8月31日 |
| 売上高 (千円) | 2,277,038 | 3,409,393 | 4,765,223 |
| 経常利益 (千円) | 356,073 | 380,341 | 498,358 |
| 親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (千円) | 151,768 | 346,643 | 282,908 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 171,343 | 345,903 | 296,190 |
| 純資産額 (千円) | 5,249,691 | 5,720,441 | 5,374,538 |
| 総資産額 (千円) | 10,043,913 | 8,991,907 | 7,937,933 |
| 1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円) | 6.88 | 15.72 | 12.83 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 52.3 | 63.6 | 67.7 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー (千円) | 1,089,134 | 689,593 | 404,329 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー (千円) | 8,026 | 18,390 | 385,812 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー (千円) | 1,469,685 | 467,820 | 1,061,547 |
| 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円) | 1,681,050 | 789,906 | 1,031,333 |

| 回次 | 第25期 第2四半期 連結会計期間 | 第26期 第2四半期 連結会計期間 |
|-------------------|------------------------------|------------------------------|
| 会計期間 | 自 2016年12月1日 至 2017年2月28日 | 自 2017年12月1日 至 2018年2月28日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 (円) | 9.45 | 7.04 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、雇用環境や所得環境の改善が続く中で、景気は引き続き緩やかな回復傾向を維持しました。海外においても、世界経済はおおむね拡大傾向となりました。

当社グループが属する太陽電池業界におきましては、中国、インド、米国などの市場で継続的に太陽電池の設置が進みました。国内では、太陽光発電所の検査について、使用前自主検査・使用前自己確認結果の届け出義務の対象が500kW以上2,000kW未満の発電所まで拡大されたこともあり、検査・メンテナンスの必要性に対する発電事業者の認識が高まりました。また、太陽光パネルの廃棄処分については、発電事業終了後にパネルが放置される恐れもあるとして、政府が廃棄処理費用の積立について、報告の義務化を検討する動きが見られました。

このような状況下、装置関連事業におきましては、太陽電池製造装置や自動化装置が順調に推移し、売上高はほぼ計画どおりとなりました。環境関連事業におきましては、検査装置の売上は若干弱かったものの、大型太陽光発電所における検査を順調に実施したほか、リユースパネルの販売も売上に貢献し、ほぼ計画どおりとなりました。そのため、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,409百万円（前年同期比1,132百万円の増収）となりました。利益につきましては、営業利益、経常利益とも前年を下回ると見込んでおりましたが、作業効率および稼働率の向上による原価低減および営業努力により、想定よりも改善される結果となりました。この結果、営業利益は411百万円（前年同期比8百万円の減益）、経常利益は380百万円（前年同期比24百万円の増益）となりました。一方、受託加工契約に関する係争について、和解合意金として相手先から支払を受けたため、当第2四半期連結累計期間に受取補償金28百万円を特別利益に計上したことで、親会社株主に帰属する四半期純利益は346百万円（前年同期比194百万円の増益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

装置関連事業

装置関連事業におきましては、売上高はほぼ想定どおりに進捗した結果、3,229百万円（前年同期比1,050百万円の増収）となりました。営業利益は、原価低減および営業努力によって当初の想定よりも改善した結果、620百万円（前年同期比38百万円の減益）となりました。

環境関連事業

環境関連事業におきましては、太陽光発電所の検査サービスを効率よく実施したことや、リユースパネルの販売により、売上高は180百万円（前年同期比81百万円の増収）となりました。営業利益につきましては、検査効率の改善や稼働率の向上により、42百万円（前年同期は4百万円の営業損失）と、第1四半期連結累計期間に引き続き、営業黒字となりました。

(2)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の期末残高は、前連結会計年度末に比べ241百万円減少し、789百万円となりました。主な要因は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により使用した資金は689百万円（前年同期は1,089百万円の支出）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益の計上408百万円、減価償却費の計上98百万円、補償金の受取額28百万円、仕入債務の増加146百万円があった一方で、売上債権の増加1,200百万円、その他の減少158百万円があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用した資金は18百万円（前年同期は8百万円の支出）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出14百万円、無形固定資産の取得による支出3百万円があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により取得した資金は467百万円（前年同期は1,469百万円の収入）となりました。これは主として、短期借入れによる収入500百万円があった一方で、リース債務の返済による支出32百万円があったことによるものです。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、経営方針・経営戦略等に重要な変更及び新たに定めた経営方針・経営戦略等はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、48百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 54,400,000 |
| 計 | 54,400,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2018年2月28日) | 提出日現在発行数(株) (2018年4月13日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|-----------------------------|------------------------------------|-----------|
| 普通株式 | 22,052,426 | 22,052,426 | 東京証券取引所 (マザーズ) | 単元株式数100株 |
| 計 | 22,052,426 | 22,052,426 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数(株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|---------------------------|-------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 2017年12月1日～ 2018年2月28日 | - | 22,052,426 | - | 2,812,461 | - | 2,734,875 |

(6) 【大株主の状況】

2018年2月28日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (株) | 発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%) |
|--|--|--------------|--------------------------------|
| 隣 良郎 | 東京都世田谷区 | 2,371,040 | 10.75 |
| 伊藤 雅文 | 埼玉県さいたま市浦和区 | 1,935,720 | 8.77 |
| 株式会社SBI証券 | 東京都港区六本木1丁目6番1号 | 1,424,500 | 6.45 |
| J.P. MORGAN SECURITIES PLC FOR AND ON BEHALF OF ITS CLIENTS JPMSP RE CLIENT ASSETS-SEGR ACCT (常任代理人 シティバンク、エ ヌ・エイ東京支店) | 25 BANK STREET, CANARY WHARF LONDON E145JP UK (東京都新宿区新宿6丁目27番30号) | 718,700 | 3.25 |
| 株式会社新生銀行 | 東京都中央区日本橋室町2丁目4-3 | 344,000 | 1.55 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 東京都千代田区丸の内2丁目7番1号 | 320,000 | 1.45 |
| 松井証券株式会社 | 東京都千代田区麹町1丁目4番地 | 311,700 | 1.41 |
| 母袋 道也 | 長野県埴科郡坂城町 | 310,000 | 1.40 |
| JPMCB:CREDIT SUISSE SECURITIES EUROPE-JPY 1007760 (常任代理人 株式会社みずほ銀行 決済営業部) | CREDIT SUISSE INTERNATIONAL, ONE CABOT SQUARE, LONDON, E14 4QJ UNITED KINGDOM (東京都港区港南2丁目15-1 品川インター シティA棟) | 226,000 | 1.02 |
| GMOクリック証券株式会社 | 東京都渋谷区桜丘町20-1 | 207,700 | 0.94 |
| 計 | - | 8,169,360 | 37.04 |

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2018年2月28日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|----------------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 400 | | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 22,047,300 | 220,473 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 4,726 | - | - |
| 発行済株式総数 | 22,052,426 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 220,473 | - |

【自己株式等】

2018年2月28日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有 株式数(株) | 他人名義所有 株式数(株) | 所有株式数の 合計(株) | 発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合 (%) |
|--------------------------|-----------------------|------------------|------------------|-----------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 株式会社エヌ・ピー・シー | 東京都台東区東上野 一丁目7番15号 | 400 | - | 400 | 0.00 |
| 計 | - | 400 | - | 400 | 0.00 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2017年12月1日から2018年2月28日まで）及び第2四半期連結累計期間（2017年9月1日から2018年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2017年8月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2018年2月28日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,031,333 | 789,906 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,034,749 | 2,234,941 |
| 商品及び製品 | 16,767 | 16,850 |
| 仕掛品 | 1,041,529 | 1,082,010 |
| 原材料及び貯蔵品 | 195,048 | 179,738 |
| 繰延税金資産 | 35,372 | 35,296 |
| その他 | 270,963 | 443,287 |
| 貸倒引当金 | 22,268 | 34,374 |
| 流動資産合計 | 3,603,494 | 4,747,656 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 3,817,291 | 3,821,771 |
| 減価償却累計額 | 1,235,198 | 1,316,224 |
| 減損損失累計額 | 8,073 | 8,073 |
| 建物及び構築物(純額) | 2,574,019 | 2,497,473 |
| 機械及び装置 | 759,205 | 759,205 |
| 減価償却累計額 | 127,104 | 132,394 |
| 減損損失累計額 | 562,093 | 562,093 |
| 機械及び装置(純額) | 70,007 | 64,717 |
| 土地 | 1,548,050 | 1,548,050 |
| リース資産 | 763,520 | 763,520 |
| 減価償却累計額 | 527,377 | 527,377 |
| 減損損失累計額 | 236,142 | 236,142 |
| リース資産(純額) | - | - |
| その他 | 279,527 | 281,951 |
| 減価償却累計額 | 227,267 | 236,767 |
| 減損損失累計額 | 4,514 | 4,514 |
| その他(純額) | 47,744 | 40,669 |
| 有形固定資産合計 | 4,239,821 | 4,150,910 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 24,112 | 22,763 |
| 無形固定資産合計 | 24,112 | 22,763 |
| 投資その他の資産 | | |
| 繰延税金資産 | 21,881 | 21,886 |
| その他 | 49,705 | 49,773 |
| 貸倒引当金 | 1,082 | 1,082 |
| 投資その他の資産合計 | 70,504 | 70,577 |
| 固定資産合計 | 4,334,438 | 4,244,251 |
| 資産合計 | 7,937,933 | 8,991,907 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2017年8月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2018年2月28日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 984,359 | 1,130,869 |
| 短期借入金 | 500,000 | 1,000,000 |
| リース債務 | 65,334 | 67,313 |
| 未払法人税等 | 13,070 | 83,638 |
| 前受金 | 664,034 | 641,882 |
| 賞与引当金 | 24,825 | 49,779 |
| 受注損失引当金 | 9,003 | 30,635 |
| その他 | 159,795 | 153,205 |
| 流動負債合計 | 2,420,422 | 3,157,324 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | - | 5,327 |
| リース債務 | 142,973 | 108,814 |
| 固定負債合計 | 142,973 | 114,141 |
| 負債合計 | 2,563,395 | 3,271,466 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,812,461 | 2,812,461 |
| 資本剰余金 | 2,734,875 | 2,734,875 |
| 利益剰余金 | 201,210 | 145,433 |
| 自己株式 | 431 | 431 |
| 株主資本合計 | 5,345,695 | 5,692,339 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 28,842 | 28,101 |
| その他の包括利益累計額合計 | 28,842 | 28,101 |
| 純資産合計 | 5,374,538 | 5,720,441 |
| 負債純資産合計 | 7,937,933 | 8,991,907 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2016年9月1日 至 2017年2月28日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年2月28日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 2,277,038 | 3,409,393 |
| 売上原価 | 1,411,815 | 2,475,867 |
| 売上総利益 | 865,223 | 933,526 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,445,552 | 1,521,926 |
| 営業利益 | 419,670 | 411,599 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 41 | 12 |
| 業務受託料 | 780 | 780 |
| 違約金収入 | - | 1,401 |
| 償却債権取立益 | - | 549 |
| 還付加算金 | 537 | 66 |
| その他 | 339 | 423 |
| 営業外収益合計 | 1,699 | 3,232 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 16,353 | 7,478 |
| 支払手数料 | 26,107 | 25,361 |
| 為替差損 | 7,977 | 1,152 |
| 減価償却費 | 6,720 | - |
| その他 | 8,137 | 499 |
| 営業外費用合計 | 65,295 | 34,491 |
| 経常利益 | 356,073 | 380,341 |
| 特別利益 | | |
| 受取補償金 | - | 28,420 |
| 特別利益合計 | - | 28,420 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 201,911 | - |
| 特別損失合計 | 201,911 | - |
| 税金等調整前四半期純利益 | 154,162 | 408,761 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,856 | 62,052 |
| 法人税等調整額 | 462 | 64 |
| 法人税等合計 | 2,394 | 62,117 |
| 四半期純利益 | 151,768 | 346,643 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 151,768 | 346,643 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2016年9月1日 至 2017年2月28日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年2月28日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 151,768 | 346,643 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | 19,575 | 740 |
| その他の包括利益合計 | 19,575 | 740 |
| 四半期包括利益 | 171,343 | 345,903 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 171,343 | 345,903 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2016年9月1日 至 2017年2月28日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年2月28日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 154,162 | 408,761 |
| 減価償却費 | 104,103 | 98,708 |
| 減損損失 | 201,911 | - |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 6,648 | 12,107 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 42 | 24,953 |
| 受注損失引当金の増減額(は減少) | 7,715 | 21,632 |
| 退職給付に係る負債の増減額(は減少) | - | 5,327 |
| 受取利息及び受取配当金 | 41 | 12 |
| 支払利息 | 16,353 | 7,478 |
| 受取補償金 | - | 28,420 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 91,269 | 1,200,755 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 339,008 | 25,390 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 1,869,526 | 146,957 |
| 前受金の増減額(は減少) | 271,511 | 22,141 |
| その他 | 175,876 | 158,809 |
| 小計 | 1,072,799 | 709,603 |
| 利息及び配当金の受取額 | 41 | 12 |
| 利息の支払額 | 16,353 | 7,478 |
| 補償金の受取額 | - | 28,420 |
| 法人税等の支払額 | 23 | 944 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,089,134 | 689,593 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の払戻による収入 | 683 | - |
| 有形固定資産の取得による支出 | 4,497 | 14,636 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 5 | - |
| 無形固定資産の取得による支出 | 4,182 | 3,616 |
| その他 | 34 | 136 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 8,026 | 18,390 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(は減少) | 1,500,000 | 500,000 |
| リース債務の返済による支出 | 30,314 | 32,179 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,469,685 | 467,820 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 15,703 | 1,264 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 388,228 | 241,427 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,292,822 | 1,031,333 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,681,050 | 1,272,760 |

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2016年9月1日 至 2017年2月28日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年2月28日) |
|----------|---|---|
| 役員報酬 | 39,600千円 | 43,500千円 |
| 給料手当 | 159,790千円 | 155,627千円 |
| 賞与引当金繰入額 | 10,095千円 | 19,250千円 |
| 退職給付費用 | - 千円 | 2,113千円 |
| 旅費交通費 | 32,805千円 | 32,268千円 |
| 支払手数料 | 31,897千円 | 26,415千円 |
| 減価償却費 | 32,158千円 | 36,141千円 |
| 貸倒引当金繰入額 | 6,557千円 | 12,107千円 |
| 研究開発費 | 39,463千円 | 48,807千円 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に記載されている科目の金額との関係

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2016年9月1日 至 2017年2月28日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年2月28日) |
|------------------|---|---|
| 現金及び預金勘定 | 1,681,050千円 | 789,906千円 |
| 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 | - 千円 | - 千円 |
| 現金及び現金同等物 | 1,681,050千円 | 789,906千円 |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2016年9月1日 至 2017年2月28日)
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2017年9月1日 至 2018年2月28日)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2016年9月1日 至 2017年2月28日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 装置関連事業 | 環境関連事業 | 合計 | 調整額 (注)1 | 四半期連結損益計 算書計上額 (注)2 |
|-----------------------|-----------|--------|-----------|-------------|---------------------------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,178,318 | 98,719 | 2,277,038 | - | 2,277,038 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | - | - | - | - | - |
| 計 | 2,178,318 | 98,719 | 2,277,038 | - | 2,277,038 |
| セグメント利益又は損失() | 659,527 | 4,889 | 654,638 | 234,967 | 419,670 |

(注)1.セグメント利益又は損失()の調整額は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2017年9月1日 至 2018年2月28日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 装置関連事業 | 環境関連事業 | 合計 | 調整額 (注)1 | 四半期連結損益計 算書計上額 (注)2 |
|-----------------------|-----------|---------|-----------|-------------|---------------------------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,229,197 | 180,195 | 3,409,393 | - | 3,409,393 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | - | - | - | - | - |
| 計 | 3,229,197 | 180,195 | 3,409,393 | - | 3,409,393 |
| セグメント利益 | 620,578 | 42,211 | 662,790 | 251,190 | 411,599 |

(注)1.セグメント利益の調整額は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2016年9月1日 至 2017年2月28日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年2月28日) |
|-----------------------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 6円88銭 | 15円72銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円) | 151,768 | 346,643 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純利益金額(千円) | 151,768 | 346,643 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 22,051,991 | 22,051,991 |

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2018年4月13日

株式会社エヌ・ピー・シー
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山 川 幸 康 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 佐 藤 賢 治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エヌ・ピー・シーの2017年9月1日から2018年8月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2017年12月1日から2018年2月28日まで）及び第2四半期連結累計期間（2017年9月1日から2018年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エヌ・ピー・シー及び連結子会社の2018年2月28日現在の財政状態及び同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。